

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
運動器系理学療法評価学演習			必修	1	2	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
粕山 達也 他		D311	kasuyama		月曜日 14:40~16:10	
授業の目的・概要	運動器疾患に対する理学療法士としての思考過程を理解し、各病態に対応した評価に関する検査・測定 の技術を身につけ、理学療法計画の立案ができるようになることを目的とする。また、各種疾患に対応 した画像診断に関する内容や症例の動作に関する動画を視聴して、疾患の臨床像を理解できるようにす る。					
学習上の助言	運動器疾患の基本的な知識を整理し、部位・疾患別に講義を行う。基礎科目の知識を応用し、理学療法 の実際に転換する思考を学習する。					
教科書	Crossling 理学療法学テキスト 運動器障害理学療法学 第1版/編集：加藤浩/メジカルビュー社					
参考書	特に指定なし					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	運動器疾患の病態について理解する。				PT(1)、(5)	
②	各運動器疾患に対する理学療法評価を立案することができる。				PT(1)、(5)、(6)	
③	運動器疾患に必要な検査・測定を行うことができる。				PT(1)、(5)、(6)	
④	評価結果の解釈をし、理学療法計画を立案することができる。				PT(1)、(5)、(6)	
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	運動器系理学療法総論について学習する。 [担当；粕山]	講義	運動器疾患の概論の課題につ いて実施する	1		
2	変形性股関節症について学習する。 [担当；粕山]	講義・実技	変形性股関節症の課題につ いて実施する	1		
3	変形性膝関節症について学習する。 [担当；粕山]	講義・実技	変形性膝関節症の課題につ いて実施する	1		
4	脱臼、靭帯損傷 (肩関節脱臼、前十字靭帯損傷等) について学習 する。 [担当；粕山]	講義・実技	肩関節脱臼、前十字靭帯損傷の 課題について実施する	1		
5	肩関節周囲炎、腱板損傷について学習する。 [担当；粕山]	講義・実技	肩関節周囲炎、腱板損傷の課題 について実施する	1		
6	慢性関節リウマチについて学習する。 [担当；粕山]	講義・実技	慢性関節リウマチの課題につ いて実施する	1		
7	運動器不安定症について学習する。 [担当；坂本 (祐)]	講義・実技	運動器不安定症の概要につ いてまとめる	1		
8	脱臼、靭帯損傷 (膝・足関節靭帯損傷等) について学習する。 [担 当；粕山]	講義・実技	膝・足関節靭帯損傷の概要につ いてまとめる	1		
9	変形性関節症に関する統合と解釈について学習する。 [担当；粕山]	講義・実技	変形性関節症の概要につ いてまとめる	1		
10	靭帯損傷に関する統合と解釈について学習する。 [担当；粕山]	講義・実技	靭帯損傷の概要につ いてまとめる	1		
11	骨折 (大腿骨頸部骨折、脊椎圧迫骨折、橈骨遠位端骨折等) につ いて学習する。 [担当；関口]	講義・実技	骨折の概要につ いてまとめる	1		
12	脊髄損傷 (頸髄、腰髄) について学習する。 [担当；関口]	講義・実技	脊髄損傷の概要につ いてまとめる	1		
13	脊椎疾患、腰痛症について学習する。 [担当；関口]	講義・実技	脊椎疾患の概要につ いてまとめる	1		
14	骨壊死疾患、骨形成不全 (側弯症) について学習する。 [担当；関口]	講義・実技	骨壊死疾患、骨形成不全 (側弯 症) の概要につ いてまとめる	1		
15	運動器疾患に関する考察の仕方について学習する。 [担当；粕山]	講義・実技	運動器疾患につ いてまとめる。	1		
試	定期試験					

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	50	0	0	0	0	50
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	各疾患の病態に対する理解、理学療法評価・理学療法計画ができるかを確認するために筆記試験（国家試験形式）を行う。				終了後、確認に来た学生には、 答案の解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
	⑦						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
	⑦						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
	⑦						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
	⑦						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
	⑦						
備 考							
<p>担当教員：◎粕山 達也、関口 賢人、坂本 祐太</p> <p>教員の実務経験：理学療法士（臨床経験 15 年） 整形外科クリニック 6 年 訪問リハビリテーション 9 年 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（臨床経験 15 年、資格取得後 5 年）</p> <p>実践的な授業内容：臨床現場に多い運動器系疾患に関する講義を行い、症例を提示した実践的な学習課題を提供する。疾患特異的な評価方法の実際や治療手技の内容を指導する。</p> <p>*実技を実施する際は、動きやすい格好で参加すること。</p> <p>*全て対面授業で実施する予定である。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。 問題がある場合は面接受業の参加は認めない。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性がある。</p>							